

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	
久留米市	③学校と家庭の課題	01 家庭等における学習習慣の定着	・学校の授業以外で学習している生徒の割合が、全国と比較すると少ないことが課題である。 ・基礎・基本の定着に向けた放課後や長期休業中に行う、補充指導等における教員の負担が課題となっている。	学校で放課後や長期休業中に、地域人材や大学生を学習指導員として活用した、学習会を実施する。	コミュニティ・スクールの取組として、地域学校協働活動推進員が積極的に地域人材を募集し、学習ボランティアとして参加する体制をつくる。	学校以外で家庭学習をする習慣が身についた生徒が増える。	本市教育振興プランアンケート「平日、学校の授業以外に、学習する時間が1時間未満の生徒の割合」(小・中学校平均)	43	%	40	45	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる	・放課後学習会を実施することで、生徒が主体的に学ぶ意欲が向上している。 ・放課後学習会での学びを家庭学習へつなげることができていない。
久留米市	①学校運営上の課題	02 社会に開かれた教育課程への対応	・社会に開かれた教育課程を実現する上で、豊かな体験活動の実施や教員の専門性がより求められ、教員の負担が増加。 ・多様な子どもたちへの支援の充実を図る上で、人的支援が不足	・学校運営協議会において、地域住民や保護者と一緒に、課題解決に向けて協議し地域学校協働活動の充実を図る。 ・コミュニティ・スクールを導入している小学校28校、中学校4校に対して、学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進を図るための支援を行う。	CS連絡協議会やCS研修会で、各校の取組紹介や講師による他市町村の事例紹介等を通して、社会に開かれた教育課程の推進を図る。	学校・家庭・地域の連携がより充実することで、教員の業務負担が軽減し、子どもと向き合う時間が増える。	本市教育振興プランアンケート「先生は、あなたのよいところを認めてくれると思う」肯定的回答の割合(小・中学校平均)	93	%	95	92	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる	・コミュニティ・スクール導入校において、地域住民が授業支援を行うことで、教育活動の充実及び教師の負担軽減につながっている。 ・推進員と教職員の効果的な連携のあり方が課題である。 ・地域連携カリキュラムを作成するなど、持続可能な仕組みをつくることが今後の課題である。